

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（日中交流センター）
- (2) 中国高校生の招へい事業
- (3) ネットワーク整備事業（派遣・招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 中国「ふれあいの場」事業（共同設置）
- (2) 中国「ふれあいの場」事業（助成）

3. 文化資料事業費

- (1) ネットワーク整備事業（ウェブサイト構築・運営）

4. 調査研究費

- (1) ネットワーク整備事業（交流担い手ネットワーク構築）

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業(日中交流センター)

日中交流の分野で、国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 11,474,292 円

| | 事業名 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------|-------------------------|--|
| 1 | コミュニティページ運営 | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 財団法人日中友好会館からの受託により、「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として、同会館が日本に招へいする中国の高校生、中国に派遣する日本の高校生を対象にした、高校生交流のコミュニティ・ページを運営。事業を通して形成された人間関係の持続・発展を目的としたもので、日中交流センターが管理運営する「心連心ウェブサイト」の一部を提供 URL: http://tanki.chinacenter.jp/ |

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (2) 中国高校生の招へい事業

中国の高校生を招へいし、日本の社会と文化を知る機会を提供するとともに、日本の人々にも中国人と直接交流し、中国の文化を知る機会を提供する。

合計額 80,359,191 円

| | 事業名 | 人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------------|----|-------------------------|---|
| 1 | [長期招へい] 中国高校生 (第5期生) | 38 | 2010.08.31 ~ 2011.07.23 | 中国の高校生に11カ月間の日本滞在の機会を提供。招へい者が日本の社会と文化を知り、同時に招へい者を取り巻く日本の人々も中国人と直接交流する機会を持つことで、「人」と「人」の心のつながりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的とする。第5期生は、2010年8月31日より2011年7月23日まで日本に滞在 |
| 2 | [長期招へい] 中国高校生 (第6期生) | 32 | 2011.08.30 ~ 2012.07.21 | 中国の高校生に11カ月間の日本滞在の機会を提供。招へい者が日本の社会と文化を知り、同時に招へい者を取り巻く日本の人々も中国人と直接交流する機会を持つことで、「人」と「人」の心のつながりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的とする。第6期生は、2011年8月30日より2012年7月21日まで日本に滞在 |
| 3 | [長期招へい] 中国高校生 フォローアップ | — | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 中国高校生長期招へい事業に参加した生徒が帰国した後、つながりの維持や卒業生どうしのネットワーク拡大のため、交流会やフォローアップを実施。更に、必要に応じて、特に日本の大学進学時のバックアップなども行う。一例として、過去に中国高校生長期招へい事業に参加した生徒が日本の大学に進学し、日本で生活している様子の動画配信も実施 |

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (3) ネットワーク整備事業(派遣・招へい)

日本と中国の間での主として青少年交流事業を実施し、将来にわたる交流の担い手としてのネットワーク構築を図る。

合計額 21,131,391 円

| | 事業名 | 人数 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------|----|------------|-------------------------|--|
| 1 | 大学生交流事業(延辺) | 7 | 延辺大学 | 2011.09.23 ~ 2011.09.25 | 吉林省延吉市の延辺大学にある、延辺「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る |
| 2 | 大学生交流事業(重慶) | 10 | 重慶師範大学 | 2012.03.23 ~ 2012.03.26 | 重慶市の重慶師範大学にある、重慶「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る |
| 3 | 大学生交流事業(西寧) | 6 | 青海民族大学 | 2011.05.17 ~ 2011.05.23 | 青海省西寧市の青海民族大学内にある、西寧「ふれあいの場」で開催される日中文化交流事業に、日本の学生を派遣する。※2010年度事業として実施予定であったが、震災の影響で延期したもの |
| 4 | 大学生交流事業(西寧) | 14 | 青海民族大学 | 2011.10.27 ~ 2011.10.31 | 青海省西寧市の青海民族大学にある、西寧「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る |
| 5 | 大学生交流事業(西寧) | 6 | 青海民族大学 | 2012.03.22 ~ 2012.03.27 | 青海省西寧市の青海民族大学にある、西寧「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る |
| 6 | 大学生交流事業(南京) | 5 | 金陵図書館 | 2011.09.02 ~ 2011.09.05 | 江蘇省南京市の金陵図書館にある、南京「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る |
| 7 | 大学生交流事業(南京) | 5 | 金陵図書館 | 2012.03.08 ~ 2012.03.13 | 江蘇省南京市の金陵図書館にある、南京「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る |
| 8 | 大学生交流事業(ハルビン) | 8 | 黒龍江大学 | 2011.06.14 ~ 2011.06.30 | 黒龍江省ハルビンの黒龍江大学にある、ハルビン「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る |
| 9 | 大学生交流事業(連雲港) | 5 | 連雲港少年児童図書館 | 2011.09.07 ~ 2011.09.11 | 江蘇省連雲港市の連雲港少年児童図書館にある、連雲港「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る |
| 10 | 大学生交流事業(連雲港) | 6 | 連雲港少年児童図書館 | 2012.03.07 ~ 2012.03.12 | 江蘇省連雲港市の連雲港少年児童図書館にある、連雲港「ふれあいの場」へ日本の学生を派遣する。日本の学生が中心となって企画した交流会を開催し、現地の若者と文化交流を通じて、相互理解を深める。また「ふれあいの場」の知名度向上と活性化を図る |

日中交流センター事業費

| | 事業名 | 人数 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------|------------------|--|-------------------------|--|
| 11 | 高校生ふれあい訪問 | 7 | 北京日本文化センター 天津外国語学校 長春ふれあいの場 | 2011.09.18 ~ 2012.09.23 | 「心連心：中国高校生長期招へい事業」で招へいする中国の生徒の日本での受入高校を対象に、「ふれあいの場」がある都市への訪問交流事業を実施し、日本の高校生たちに直に中国に触れる機会を提供。中国で日本語学習を行っている高校との交流のほか、「ふれあいの場」での交流会を実施し、「ふれあいの場」事業を活性化 |
| 12 | 日中高校教員相互訪問 | 15（訪日） 13（訪中） | （訪日） 日本語国際センター （訪中） 南京外国語学校 南京工業大学 東北育才学校 | 2011.11.01 ~ 2012.03.31 | 「心連心：中国高校生長期招へい事業」の日本側受入校及び中国側出身校の教員が相互に訪問することで、日本側は招へい生の育った環境への理解を、中国側は招へい生の日本での生活状況への理解をそれぞれ深め、同事業の更なる発展と内容改善に資するもの |
| 13 | [招へい]ふれあいの場幹部 | 3 | 外務省 八橋庵かけはし 京都国際マンガミュージアム | 2012.03.20 ~ 2012.03.25 | 大連ふれあいの場運営に関わる幹部3名を招へいし、日中交流センターと協議を行い、東京及び京都においてふれあいの場運営のために参考となる文化施設を視察 |

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (1) 中国「ふれあいの場」事業(共同設置)

現代日本の最新情報に接する機会が比較的限られる中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する

合計額 23,057,095 円

| | 事業名 | 都市 | 共催・協力機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------------------------------------|----------------------|--|-------------------------|---|
| 1 | 成都ふれあいの場 | 成都 | 広島・四川中日友好会館 | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 現代日本の最新情報に接する機会が少ない中国の地方都市において、日本情報発信の拠点となる「ふれあいの場(中国語表記: 中日交流之窓)」を四川省成都市の広島・四川中日友好会館内に設置し、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催 |
| 2 | 長春ふれあいの場 | 長春 | 長春図書館 | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 現代日本の最新情報に接する機会が少ない中国の地方都市において、日本情報発信の拠点となる「ふれあいの場(中国語表記: 中日交流之窓)」を吉林省長春市の長春図書館内に設置し、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催 |
| 3 | 南京ふれあいの場 | 南京 | 金陵図書館 | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 現代日本の最新情報に接する機会が少ない中国の地方都市において、日本情報発信の拠点となる「ふれあいの場(中国語表記: 中日交流之窓)」を江蘇省南京市の金陵図書館内に設置し、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起。「ふれあいの場」では、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催 |
| 4 | Girls Be Sparkling (ファッション・メイクイベント) | 大連 長春 | 大連中日友好協会 長春図書館 | 2011.10.26 ~ 2011.10.31 | 日本の現代ファッションを日本文化として「ふれあいの場」を通じて中国に発信。日本で活躍するヘアメイクアーティスト、ファッションリーダーが講師となり、最新ファッション・メイクテクニックを伝え、交流することで、相互理解を深化 |
| 5 | ふれあいの場巡回公演事業 | 成都 西寧 青島 北京 | 広島・四川中日友好会館 青海民族大学 北京外国語大学 北京日本文化センター | 2011.10.22 ~ 2011.10.31 | 日本文化と接する機会が限られた中国の地方都市にて、日中の音楽を通じた交流を図り、日本への親近感・関心を高めることを目的とした事業。日本でも活躍中の中国人歌手aminと、中国でも「桜」で有名な河口恭吾を招へい |
| 6 | 「ちひろとトットちゃん」展 | | 杭州図書館 | 2012.03.17 ~ 2012.03.31 | 日本文化と接する機会が少ない中国の地方都市にて、いわさきちひろの絵画と『窓際のトットちゃん』の展示を通じた交流を図り、日本への親近感・関心を高めてもらう。また、ふれあいの場の知名度向上と活性化を図る |

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (2) 中国「ふれあいの場」事業(助成)

現代日本の最新情報に接する機会が比較的限られる中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する

合計額 6,571,802 円

| | 助成対象者・機関 | 都市 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------|------|-------------------------|---|
| 1 | 黒龍江大学東語学院 | ハルビン | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、黒龍江省ハルビンの黒龍江大学東語学院に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、日中学生交流会、マンガ講座等のイベントに989名が参加 |
| 2 | 延辺大学日本学研究所 | 延辺 | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、吉林省延辺市の延辺大学日本学研究所に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、「日本事情シリーズ」講演会、カラオケ大会等のイベントに2,641名が参加 |
| 3 | 大連中日文化交流協会 | 大連 | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、遼寧省大連市の大連中日文化交流協会に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、ファッション・メイクイベント等に1,668名が参加 |
| 4 | 連雲港少年児童図書館 | 連雲港 | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、江蘇省連雲港市の連雲港少年児童図書館に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、寿司作り、アフレコ大会等のイベントに2,767名が参加 |
| 5 | 青海民族大学 | 西寧 | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、青海省西寧市の青海民族大学に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、日本語コーナー、料理イベント等のイベントに10,774名が参加 |
| 6 | 杭州図書館 | 杭州 | 2011.11.28 ~ 2012.03.31 | 現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、浙江省杭州市の杭州図書館に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起(2012年3月に開館) |
| 7 | 重慶師範大学 | 重慶 | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、重慶市の重慶師範大学に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、日本語コーナー、和服の着付け等のイベントに4,482名が参加 |
| 8 | 中山大学 | 広州 | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 現代日本の最新情報に接する機会をより多くの一般市民に提供するため、広東省広州市の中山大学外国語学院に対して主としてコンテンツ(漫画・雑誌・音楽CD等)の提供や日中文化交流イベントの開催等に関する経費支援を行うことにより、中国の一般市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。書籍、雑誌の閲覧のほか、日本語コーナー、日本学論壇等のイベントに1,327名が参加 |

日中交流センター事業費

3. 文化資料事業費 / (1) ネットワーク整備事業(ウェブサイト構築・運営)

将来にわたり日中間のかけ橋となり得る人々のネットワークを構築し、日中交流の基盤強化を図る。

合計額 24,108,904 円

| | 事業名 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------------|-------------------------|--|
| 1 | 「心連心ウェブサイト」のサイト運営 | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 日中間の交流事業を通じて生まれた友情の輪をつなぎ、広げていくために、「心連心ウェブサイト」を運営。閲覧者による書き込み機能が充実した「コミュニティ・サイト」として機能し、閲覧者は閲覧のほか、意見・感想を書き込むことで、他の閲覧者と交流が可能。日本語と中国語の同時翻訳機能を搭載 |
| 2 | 「心連心ウェブサイト」のコンテンツ管理 | 2011.04.01 ~ 2012.03.31 | 日本と中国の若い世代の間で人気の高い、映像、音楽、ファッション、グルメ等の最新情報、日本と中国の現役大学生による大学紹介、アニメを通じた日本文化紹介等の情報を発信 |
| 3 | 「心連心ウェブサイト」のリニューアル | 2012.01.01 ~ 2012.03.31 | 日中間の交流事業を通じて生まれた友情の輪をつなぎ、広げていくために、インターネット上で、「心連心ウェブサイト」を運営。このサイトのリニューアルを実施 |

4. 調査研究費 / (1) ネットワーク整備事業(交流担い手ネットワーク構築)

日中交流促進にかかる環境整備 (中国での日本文化紹介ラジオ番組など)

合計額 1,250,000 円

| | 事業名 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------|-------------------------|--|
| 1 | ラジオ番組制作・放送事業 | 2010.07.01 ~ 2011.06.30 | 日本の「流行音楽」と「流行情報」を中国語で紹介するラジオ番組を制作し、日本の現代文化に関する情報が少ない中国国内各地域の主要FMラジオ局に無償もしくは低額で提供し、放送を実現。更に、番組において、国際交流基金日中交流センターが実施する事業の告知・広報を行い、センターの他事業と連動させることで、中国国内でのセンター事業の一層の浸透を図る |